公益社団法人日本青年会議所 関東地区 茨城ブロック協議会 2026年度 基本方針	
ブロック大会連絡会議　議長　江連　悟	
現状把握	茨城ブロック大会は茨城ブロック協議会における最大の運動発信の場であり、茨城のスケールメリットを活かした事業が展開できますが、対内対外参加者の減少があり5益の全てが享受できていない現状があります。また、今後のブロック大会についてメンバーが少ない、LOMの基盤が整っていないなど主管立候補を躊躇する声が寄せられています。今後、どのようなLOMでもブロック大会が開催できる大会構築が求められる今、メンバーの成長、地域とLOMの発展、茨城の発展につながるブロック大会にしていくことが重要です。
会議体 設置背景	茨城ブロック協議会と各LOMの連絡調整機関として、5益の最大化を図り、メンバーに茨城のスケールメリットを活かした学びを得る機会を提供することで地域とメンバーの成長を促し、当事者意識を醸成し茨城の発展へつなげる必要があります。
会議体 概要	1.第55回茨城ブロック大会土浦大会開催理念計画
	茨城ブロック協議会と各LOMとの意思の統一を図り開催理念を浸透させるために、開催理念、大会テーマを策定し、ブロック大会の方向性を明確にします。
	2.第55回茨城ブロック大会土浦大会記念事業、本大会PR計画
	第55回茨城ブロック大会土浦大会への参加を促すために、意義のあるPR計画を定め、各LOMの訪問でPRを行い、多くの地域市民、メンバーへの動員へとつなげます。
	3.第55回茨城ブロック大会土浦大会記念事業の実施
	第55回茨城ブロック大会土浦大会記念事業を成功させ、世代を超えた物的精神的資産を残し地域に愛着を持ってもらうために、主管LOMの意識を共有したうえで副主管LOM、茨城ブロック協議会との連絡調整と記念事業を実施し、メンバーへの当事者意識の向上につなげます。
	4.第55回茨城ブロック大会土浦大会の実施
	5益を最大化させるために、開催エリアの行政や各諸団体と連携し地域の魅力を最大限に発信、青年会議所運動の意識を高めるブロック大会を構築することでメンバーの成長と地域の発展の契機とします。
	5.第55回茨城ブロック大会土浦大会式典の実施
	茨城ブロック協議会の歴史と現状と展望を強く発信するために大会式典を実施し、当事者意識や目的を広く伝播することで、次年度開催地へ想いをつなぎ、団結力を高めます。
	6.第56回茨城ブロック大会主管LOMの調査、分析、サポートの実施
	第56回茨城ブロック大会主管LOMに引き継ぐために調査、分析、サポート、第55回茨城ブロック大会主管LOMと第56回茨城ブロック大会主管LOMの対話集会を

	行い、第56回茨城ブロック大会主管LOMを高い位置で継承します。
	7.第57回茨城ブロック大会主管LOMの推薦
	持続可能なブロック大会を実現するために、体制整備を行い、主管立候補に意欲があるLOMを推薦することで、各LOMへ熱意が伝播し、主管立候補に対する意識が向上します。
会議体による LOM支援の 実施内容	・メンバー同士の交流や茨城のスケールメリットを享受することができ、各LOMの運動が活発になります。 ・ブロック大会主管立候補ができる体制整備を行い、どのようなLOMでもブロック大会が開催できるようになります。 ・PRを行うことで、ブロック大会への参加の意義を伝え、動員につなげやすくなり、新たな学びや気づき、交流の機会を提供します。
1年間の成果	LOMや地域の規模に関係なく、ブロック大会を主管立候補できるLOMが増えます。主管LOM、参加者メンバーがLOMの意識変革の起点となり、地域経済の発展に寄与し、活動エリアにとって必要不可欠な存在になります。